

ドイツ連邦食料・農業省 農林漁業最新情報  
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft  
NO 14  
2020・10・27

1 EU－農相理事会：温室効果ガスゼロを目指す具体的な戦略を  
－農場から食卓まで－戦略を正式決定－ (2020・10・19)

連邦農業大臣クレックナー議長のもとで、今日（10月19日）EU－農相理事会が「農場から食卓まで－戦略」を正式に決定した。同時に農業分野におけるドイツ議長のさらなる目標を設定した。5月にヨーロッパ委員会が持続的な食料システムの貢献を、ヨーロッパグリーンデール（訳注・温室効果ガスを2050年までにゼロとする取組み）に反映させるために、この戦略を提案していた。

クレックナー議長は、27の政策を説明し、その際ドイツが既にその途上にある重要なイニシアチブを取り上げた。これはEU一域内で統一的に拡大している栄養価表示、家畜の福祉表示そして食料の浪費減少が含まれる。さらにクレックナーが説明した：我々が達成したところの合意された決定は、持続的、経済的に耐えうる農業－食料業システムのための、重要なシグナルと態度表明である。EUにおいて生産から消費者までの全体的な栄養システムを配慮する。

”私は理事会議長職として、ヨーロッパの農業者のために、この戦略政策を実施できることに価値を見ている。このことは、我々が成果を目指すことに、重きをおいているからである。我々は結果を示すことについて、EU一委員会の承諾を得ている。適切な奨励でもって、新しい要求もまた裏打ちされねばならない。

我々が地域産物と食料の確保を欲するとき、ヨーロッパの農業－食料業の競争能力を危機に晒すべきでない。そのために、農業者から消費者までの全体的な関心事は、相互作用と目的を巡る紛争を視野に入れねばならない。”

農相理事会の最終結論は、EU 一農業一食料業の強化のためのEU 一加盟国の態度表明である。

- 一 この戦略は革新とデジタル技術の上に設定されること。
- 一 経済的に利益があること。そして同時に競争力を生ずること。
- 一 自身の経済基盤が確保され、そして資源を適切に守ること。

理事会の最終結論は、EU 一委員会にとって将来的な活動のための基本方針として役立つ。それはEU 一同盟が効果的、持続的そして耐久力のある食料システムへの移行実現が重要である。この歩みは国内、ヨーロッパそして世界的レベルで、そして多く政治的分野の政策と変化を必要とする。

#### **EU一農相理事会の最終結論の基本点：**

- 一 高価値で栄養に富んだ、そして安全で持続的に生産され、適切な価格の食料を、十分かつ多様な供給へのヨーロッパ市民の到達が、絶えず保障されねばならない。食料の安全確立がうまくいくこと。
- 一 持続的な食料システムへの成果ある移行のために、大きな意義をもつ第1次生産者のために、適切な収入の保障を強調している。
- 一 持続的な食料システム実現のための手段として、研究と革新もまた戦略の中に強調されることを歓迎している。さらにグリーン デイール、そしてデジタル、革新とバイオ技術がこれに属している。環境と人間の健康のために、懸念の無い限りにおいて。
- 一 土壌肥沃性と農業の生産性を保持し、そして経済的、社会的、生態系上の持続性を保障することの重要性を強調している。
- 一 健康で持続的な栄養の指針との調和による食料の新しい定式化の奨励が重要であることを重視している。例えば、砂糖、塩分そして飽和脂肪酸。
- 一 健康で持続的な栄養の奨励に際して、基本的な役割を情報キャンペーン、栄養教育、栄養素の質の簡単な理解、価格形成、販売方法、栄養表示を強調している。

## 2 クレックナー議長声明：EU ー共通農業政策の改革に合意

ー EU 農相理事会で 27 加盟国の集中的な交渉ー (2020・10・21)

連邦農業大臣クレックナー議長のもとで、ルクセンブルグでの EU ー農相理事会において、27 ヲ国の加盟国が共通農業政策（GAP）の改革について合意した。同時にドイツ議長職の中心的目的は達成された。2 日間の集中的な交渉の後、火曜日の夜にいわゆる”全般的な調整”を決定した。

これについてクレックナーが説明した：”今日の合意はヨーロッパの共通農業政策の礎石であり、そしてシステムの転換でもある。私は議長職において、ヨーロッパの中心的問題での一致に成功したことを喜んでいる。我々は、27 の加盟国それぞれの異なる農業構造にも拘わらず、共通的に指標となる決定を行った。最初に我々は全ての国が環境ー気象保護について、義務づけられた基準を導入する。

これは EU 内におけるより多くの持続性、公平さそして競争上の正義に向けて、極めて重要な歩みである。同時に我々はその要求が実践上役立ち、そして実施可能なことを保障する。このことによって、農業者に生ずる超過支出に報いたい。我々はより強力な環境ー気象の野心的な試みを、食料の確保と農業経営のために、必要な収入支援と調和させる。同時に我々は EU において競争力のある食料生産のための基盤を創り出す。”

## 3 EU ー農業・漁業相理事会が 2021 年バルト海の漁獲量を決定

ー西部海域のタラについて控えめな増加ー (2020・10・19)

西部海域のニシンと東部海域のタラについては、なお困難な状況にある。

ドイツ連邦食料・農業大臣クレックナー議長のもとに、EU ー各国漁業大臣の協議で、今日（10 月 19 日）ルクセンブルグで集中的な交渉の後、バルト海 2021 年の新しい漁獲量を決定した。

バルト海の漁況状況は、さらに困難になっている。その原因は多様である。これには、特に気象変動、富栄養化、海洋ゴミそして工業汚染もまた含まれる。これは決定した漁獲割当量にも反映している。

- ー 西部海域について 5%という控えめな増加を得ることに成功した。
- ー 他方、これに対して西部海域のニシンについては、科学的な勧告を基礎に、この現況についてさらなる削減が必要である。

2021年の割当量は、50%削減された。西部海域のニシン回復について、ノルウェーとの来るべき交渉において成功するかどうか、これが決定的である。スカゲラク海峡/カッテガット海峡（Skagerrak/Kattegat 訳注・ユトランド半島とスカンジナビア半島との間にある海峡）海域の漁獲割当量について、この現況によって同じく適切な削減が実施される。

- 一 東部海域のタラについて、既にこれまで漁獲していなかったように、魚の現況を維持しなければならない。
- 一 プレイス（ニシンの一種 訳注・別名ヨーロッパツノガレイ）とスプラット（訳注・ニシンの一種）について、漁獲割当量は約 5~6%と控えめの増加だった。
- 一 さらに釣り人の自由漁業期間のための最高漁獲量は、1日/1人当たり 5匹、禁漁期間は 2匹である。

連邦農業大臣クレクナー：“我々はこの決定でもって、良いバランスをもたらす。魚の現況は回復しなければならない。高い割当量は魚の現況を脅かす。同時に科学的データを基礎に、持続的な管理を可能にする。なぜならば、漁と釣り観光に多くの漁業家族の経済的生活と、沿岸漁業が関わっているからである。そのため、新しい漁獲割当量は、共通の基盤である。

漁業は魚の不良な生息状況に基づいて、もはや持続的に可能とならないので、我々は支援を考慮する。クレクナー議長のもとに、EU委員会、ヨーロッパ議会にこのことを通知する。バルト海における漁船が最終的に休漁することを。このことは該当する漁業者に重大な影響をもたらすことになるため、これを緩和し、彼らに経済的な展望を与えるために重要である。個々には農相理事会が次の総漁獲量と、割当漁獲量を決定する。これはドイツにとっても重要である。”

## 背景：

2021年漁獲可能性提案の基礎は、国際海洋研究機構（ICES）の科学的な勧告と多数年プランで、持続的な漁業達成が共通漁業政策の目的である。

バルト海 2021 年総漁獲量と漁獲割当量

単位：t

魚 種	EU 総漁獲量	ドイツ割当量	EU 総漁獲量	ドイツ割当量	変 化 2021/2020
	2020 年		2021 年		
バルト海西部海域ニシン	3 150	1 738	1 575	869	-50 %
同 上 タ ラ	3 806	812	4 000	853	+5
バルト海東部海域タ ラ	2 000	183	595	54	-70
プレイス (ツノガレイ)	6 894	549	7 240	576	+5
スプラット (ニシン)	210 147	13 132	222 958	13 932	+6

2020・10・25 訳

青森中央学院大学

中川 一徹